

マイクロソフトの Mixed Reality デバイス 「HoloLens 2」の取り扱いを開始

SB C&S 株式会社（以下「SB C&S」）は、マイクロソフトコーポレーションが提供する法人向け Mixed Reality デバイス「HoloLens 2」の取り扱いを2020年3月24日より開始します。



「HoloLens 2」は、3D グラフィックなどで作られた映像や画像（ホログラム）を、現実世界に重ね合わせて表示することで、目の前に実物があるかのように見たり、動かしたりできる技術「Mixed Reality」（複合現実）を実現する、マイクロソフトのヘッドマウントディスプレイの第2世代製品です。「HoloLens 2」は、Windows 10 を搭載し、携帯電話やパソコンなどの外部機器と接続せずにワイヤレスで使用可能です。また、ホログラムを拡大、縮小、回転、移動することも可能です。複数デバイスで同じ空間を共有できることから、製造、建築、教育、医療などさまざまな業種で活用され始めています。

【HoloLens 2 の特長】

- ・ 視野角が前世代機と比較し大幅に向上
- ・ 直感的な UI 操作により、表示した 3D モデルの操作性が向上
- ・ デバイス前後の重量バランスの改善により装着時の快適性が向上、ガラス部分のフリップアップ可能



【技術仕様】

人間の認識

- ・ ハンドトラッキング
- ・ アイトラッキング、虹彩認証
- ・ ボイスコマンド

環境の認識

- ・ 6DoF トラッキング
- ・ 世界規模の位置追跡
- ・ 空間マッピング
- ・ リアルタイム環境メッシュ
- ・ Mixed Reality キャプチャ

【価格（税抜き）】

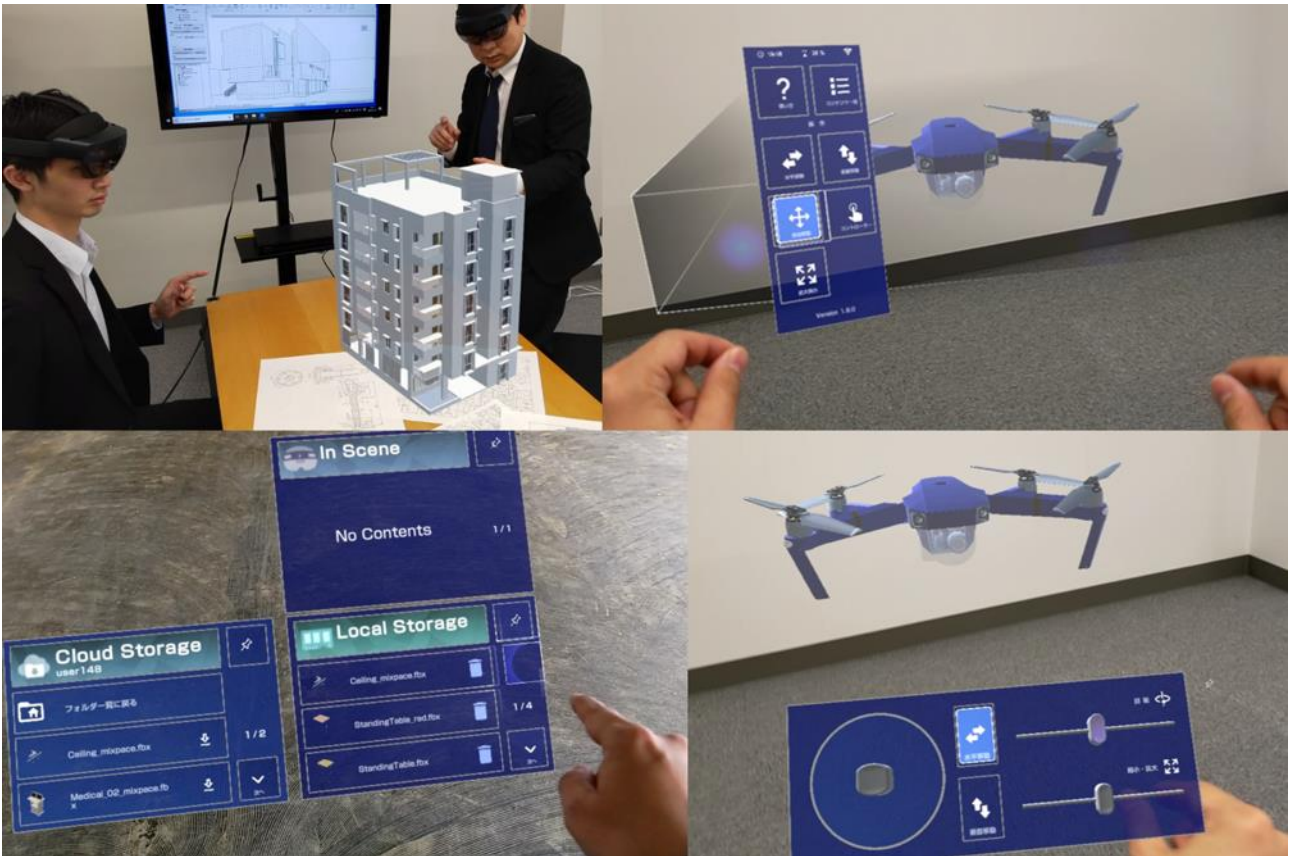
38万3,800円

【HoloLens 2 ソリューション「mixpace」】

SB C&S と株式会社ホロラボにて共同開発している「mixpace」は HoloLens 2 に対応しており、3D CAD や BIM データの AR 化に必要な変換・管理・表示機能をワンストップで提供するソリューションです。HoloLens 2 をお持ちの方は、「mixpace」を導入することで、すぐに業務で活用することができます。

「mixpace」は、誰でも手軽に 3D CAD や BIM で作成したデータを AR/MR 対応デバイスで確認が可能な 3D モデルに変換でき、主に設計や製造、建設、配置シミュレーション、施工、保守などで 3D データを活用いただけます。これまで手作業で何日もかかっていた、AR/MR 向けの変換作業が、最短で 1~2 分※で自動的に完了するので、作業時間の大幅な短縮が見込めます。詳細は WEB サイト (<https://biz.cas.softbank.jp/mixpace/>) をご覧ください。

※変換に要する時間はデータの内容によって変わります。



「mixpace」の HoloLens 2 アプリを活用した様子

【ライブ配信オンラインセミナー】

2020年3月18日に行われたオンラインセミナーの様態をアーカイブ配信しています。「HoloLens 2」の魅力や、「HoloLens 2」を活用した「mixpace」ソリューションをご紹介します。

ご登録 URL :

<https://event.on24.com/wcc/r/2216930/3BDAC24CAC503677195B1D0301839859?partnerref=pressrelease>

- ・ セッション1 「Microsoft HoloLens 2 の魅力とは？」

株式会社ホロラボ 代表取締役 CEO 中村 薫氏

- ・ セッション2 「CAD データを簡単に AR 化できる mixpace のご紹介」

SB C&S 株式会社 AR/VR/MR ソリューション担当 遠藤 文昭

【HoloLens 2/mixpace のお問い合わせ】

<https://biz.cas.softbank.jp/mixpace/>

- SoftBank および SB の名称、ロゴは、日本国およびその他の国における SB グループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このお知らせに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。